

平成27年度 第6期

事業報告書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は、平成22年7月1日より公益財団法人としてスタートし第6期目の本年度は、定款に従い下記の各事業を遂行した。

本年度は、理事会を、4月17日、5月14日、7月10日、9月18日、9月25日、1月8日、2月19日、3月11日の計8回、評議員会を、5月14日、3月15日の計2回開催した。また、各選考委員会は、9月18日、9月25日、2月19日、3月11日の計4回開催した。

各理事会・評議員会における主要な議題と決議は次の通りである。

【理事会】

第38回理事会（平成27年4月17日）書面表決 理事数11名 監事数2名
平成26年度事業報告(案)・平成26年度決算報告(案)の承認の件

第39回理事会（平成27年5月14日）出席者 理事10名 監事2名

1. 平成27年度・平成28年度代表理事及び執行理事選任の件
2. 各選考委員会の選考委員長選任の件
3. 本財団が保有する株式について、その株式に係る議決権の行使について

第40回理事会（平成27年7月10日）出席者 理事10名 監事2名

1. 第51回小島三郎記念文化賞推薦票の確認及び予備選考
2. 第51回小島三郎記念文化賞候補者の業績説明担当委員の決定
3. 第23回研究助成金に係る分野別審査委員及び選考委員の確認
4. 委員会規定（改正案）の件
5. 謝金規定（改正案）の件

第41回理事会（平成27年9月25日）出席者 理事11名 監事2名

1. 第51回小島三郎記念文化賞受賞者の決定
2. 第23回研究助成金受贈者の決定
3. 来年度（平成28年度）秋の贈呈式の会場及び日程について
4. マイナンバー制度への対応について

第42回理事会（平成28年1月8日）出席者 理事10名 監事2名

1. 平成28年度における会議及び事業計画の策定
2. 第51回小島三郎記念技術賞・第35回福見秀雄賞贈呈式における特別講演者の選定
3. マイナンバー取扱規程集等の承認の件
4. 債券購入の件

第43回理事会（平成28年2月19日）出席者 理事10名 監事2名

1. 第35回福見秀雄賞受賞者の決定
2. 第51回小島三郎記念技術賞選考委員の出席状況
3. 第51回小島三郎記念技術賞の予備選考
4. 平成28年度事業計画（案）・平成28年度予算（案）の承認の件
5. 評議員会開催の件

第44回理事会（平成28年3月11日）出席者 理事9名 監事2名

1. 第51回小島三郎記念技術賞受賞者の決定

【評議員会】

第13回評議員会（平成27年5月14日）出席者 評議員12名 理事7名 監事2名

1. 平成26年度事業報告(案)・平成26年度決算報告(案)の承認
2. 理事・監事選任の件

第14回評議員会（平成28年3月15日）書面表決 評議員数12名

平成28年度事業計画（案）・平成28年度予算（案）の承認の件

【各選考委員会の開催】

第23回研究助成金選考委員会（平成27年9月18日）出席選考委員6名

第23回研究助成金贈呈候補者の選考

第51回小島三郎記念文化賞選考委員会（平成27年9月25日）出席選考委員20名

第51回小島三郎記念文化賞贈呈候補者の選考・決定

第35回福見秀雄賞選考委員会（平成28年2月19日）出席選考委員15名

第35回福見秀雄賞贈呈候補者の決定

第51回小島三郎記念技術賞選考委員会（平成28年3月11日）出席選考委員25名

第51回小島三郎記念技術賞贈呈候補者の選考・決定

各事業の詳細は次の通りである。

I. 研究助成事業

本財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所、及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請内容を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審議して研究助成の対象者を決定するものである。

当該事業は、平成5年度から開始しており、本年度の研究助成金選考委員会は、第23回目に当たり9月18日に開催し9月25日行なわれた理事会において第51回小島三郎記念文化賞受賞者とともに研究助成金の受贈者と金額を決定した。申請件数は191件で、そのうち14件（14名）に研究助成金を贈呈することとした。

なお、贈呈式は平成27年10月30日銀行倶楽部（東京都千代田区）にて行なわれた。対象者の氏名、研究課題は次のとおりである。

【研究助成金の受贈者 第23回】

1. 秋山 真一

（所属機関）名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座 腎臓内科 特任講師
農学博士

（研究課題）「一次性膜性腎症の鑑別および予後推定に有用な簡易診断キットの開発」

（助成金額）90万円

2. 笠松 哲光

（所属機関）群馬大学大学院保健学研究科 助教

（研究課題）「血液疾患におけるサイトカインレセプター遺伝子多型解析と臨床検査への応用に関する研究」

（助成金額）100万円

3. 加藤 健太郎

（所属機関）帯広畜産大学原虫病研究センター 特任准教授 獣医学博士

（研究課題）「クリプトスポリジウム原虫共生ウイルスを利用した診断系の確立」

（助成金額）90万円

4. **桑原 絵里加**
 (所属機関) 東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野 助教 医学博士
 (研究課題) 「小児期血液検査の予防医学的意義に関する疫学研究」
 (助成金額) 90 万円

5. **佐藤 隆幸**
 (所属機関) 首都大学東京大学院理工学研究科電気電子工学専攻 助教 工学博士
 (研究課題) 「体外循環時の血液粘度の超音波計測技術実用化に関する研究」
 (助成金額) 90 万円

6. **神力 悟**
 (所属機関) 熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学分野 講師
 熊本大学医学部附属病院中央検査部 副部長 医学博士
 (研究課題) 「静止期癌細胞の特性解明による転移・再発の新規診断・治療法の開発」
 (助成金額) 90 万円

7. **豊川 真弘**
 (所属機関) 東北大学病院診療技術部検査部門 副臨床検査技師長 保健学博士
 (研究課題) 「ノカルジア感染症の早期適正治療支援のための薬剤感受性データベースの構築」
 (助成金額) 100 万円

8. **萁安 英治**
 (所属機関) 宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野 助教 医学博士
 (研究課題) 「マイクロ流路基盤上でのルシフェラーゼ免疫沈降による簡便・迅速・高定量的・安価な免疫アッセイシステムの開発」
 (助成金額) 90 万円

9. **仁木 満美子**
 (所属機関) 大阪市立大学大学院医学研究科 細菌学講座 講師 歯学博士
 (研究課題) 「Ethidium bromide monoazide および propidium monoazide 処理後のサンプルにおけるリアルタイム PCR 法を用いた抗酸菌生菌数定量法の薬剤感受性迅速検出法への応用」
 (助成金額) 90 万円

10. **松田 勝也**
 (所属機関) 長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学 助教 医学博士
 (研究課題) 「DNA 損傷応答分子 53BP1 発現による甲状腺濾胞性腫瘍術前診断マーカーの開発」
 (助成金額) 100 万円

11. **松田 陽子**
 (所属機関) 東京都健康長寿医療センター病理診断科 医長 医学博士
 (研究課題) 「病理検体を用いた膵癌化学療法感受性マーカーの発現の検討」
 (助成金額) 90 万円

12. **松本 竹久**
 (所属機関) 信州大学医学部附属病院臨床検査部 臨床検査技師 医学博士
 (研究課題) 「難培養性細菌 *Helicobacter heilmannii* 及び *Helicobacter suis* の培養技術の開発」
 (助成金額) 100 万円

13. ^{むらた たかひさ}村田 幸久

(所属機関) 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 獣医学博士
(研究課題) 「尿中脂質を応用した食物アレルギー診断方法の確立」
(助成金額) 90 万円

14. ^{やまもと かずひろ}山本 和宏

(所属機関) 神戸大学医学部附属病院薬剤部薬品研究室 室長代行
(研究課題) 「腎細胞癌患者の分子標的治療における有効性マーカーの PK・PD 統合的な PG x 解析」
(助成金額) 90 万円

計 14 名 研究助成金総額 1,300 万円

II. 顕彰事業

本財団の定款第 4 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰である「小島三郎記念文化賞」と臨床検査技師及び衛生検査技師等において優れた検査方法、術式の開発に成果を収めた者と当該分野における人材の育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰である「小島三郎記念技術賞」と「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年 1 回贈呈している。

①. 【小島三郎記念文化賞】第 51 回の贈呈

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究に対して、贈呈するものである。

同賞の候補対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、発表論文等を選考委員会で各分野の審査委員が各候補者の業績コメントを述べ、慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和 40 年から開始しており、今年度の小島三郎記念文化賞選考委員会は、第 51 回に当たり 9 月 25 日に開催し同日行なわれた理事会において受賞者を決定した。

平成 27 年度における第 51 回小島三郎記念文化賞の候補対象者 6 名のうちから 1 名を決定したもので、この贈呈者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

なお、同賞の贈呈式は平成 27 年 10 月 30 日、銀行倶楽部（東京都千代田区）にて行なわれた。

(氏名) (所属機関)

^{せやつかさ}瀬谷 司

北海道大学大学院医学研究科免疫学分野 教授 医学博士、薬学博士
業績の題目 「自然免疫の自己・非自己識別機構に関する研究」

②. 【小島三郎記念技術賞】第 50 回の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において、優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補

者について、推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。平成 27 年度における第 50 回小島三郎記念技術賞の候補対象者 26 名のうちから贈呈者 5 名を決定したもので、この贈呈者の氏名、所属及び業績は次の通りである。なお、同賞の贈呈式は平成 27 年 6 月 5 日、銀行倶楽部（東京都千代田区）にて行われた。

(氏 名)

(所 属 機 関)

すずき まさひろ

鈴木 匡弘 愛知県衛生研究所 主任研究員 農学博士

業績の題目 「迅速な遺伝子型比較のための分子疫学解析法
(PCR-based ORF typing 法 : POT 法) の開発」

せいみや まさのり

清宮 正徳 千葉大学医学部附属病院検査部 副臨床検査技師長 医学博士

業績の題目 「臨床検査における新規測定法の開発ならびに問題点の解明」

たかはし おさむ

高橋 修 市川市リハビリテーション病院臨床検査科 科長

業績の題目 「臨床検査技師が関わる臨床神経生理部門における研究と教育」

つるだ かずと

鶴田 一人 長崎大学病院検査部 副技師長

業績の題目 「造血器腫瘍の病態解析と診断法確立」

やました かずや

山下 和也 北里大学病院病理部 技師長 医学博士

業績の題目 「分子病理学的検査技術の日常病理検査業務への導入とその臨床応用」

③. 【福見秀雄賞】第 34 回の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ後進の指導育成に貢献あった者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

平成 27 年度における第 34 回福見秀雄賞の候補対象者 14 名のうちから贈呈者 4 名を決定したもので、この贈呈者の氏名、所属は次のとおりである。

なお、同賞の贈呈式は平成 27 年 6 月 5 日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて銀行倶楽部（東京都千代田区）にて行われた。

(氏 名)

(所 属 機 関)

さの かずみつ

佐野 和三 日本大学病院臨床検査部 技術長

しばた ひろし

柴田 宏 北陸大学新学部設置準備室 教授
前 島根大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長 医学博士

とおだ えいち

遠田 栄一 社会福祉法人三井記念病院中央検査部 部長

④. 【小島三郎記念技術賞】第51回の選考および決定

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において、優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和41年から開始しており、平成28年度における第51回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は、平成27年12月より平成28年2月12日までを行い、その後同選考委員会を3月11日に開催し、同日行なわれた理事会において候補対象者26名のうちから贈呈者5名を決定した。

なお、同賞の贈呈式は平成28年6月3日、銀行倶楽部にて開催の予定である。

(氏名) (所属機関)

おおえ ひろやす

大江 宏康 金沢大学附属病院検査部 副臨床検査技師長 保健学博士

業績の題目 「聴覚閾値推定装置、聴覚閾値推定方法及び聴覚閾値推定プログラムの開発」

かわはら あきひこ

河原 明彦 久留米大学病院病理診断科・病理部 副技師長 医学博士

業績の題目 「細胞診における細胞遊離 DNA および免疫染色を用いた新しい epidermal growth factor receptor (EGFR) 遺伝子変異検出法の確立とその臨床応用」

たなか ゆみこ

田中由美子 東海大学医学部附属病院臨床検査技術科 臨床検査技師

業績の題目 「造血器疾患の血液形態および造血幹細胞移植後の生着指標の開発研究」

なかむら たつや

中村 竜也 神戸大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師 保健学博士

神戸大学医学部附属病院感染制御部 副部長

業績の題目 「各種βラクタマーゼ産生腸内細菌の疫学研究および薬剤感受性報告システムの開発」

なんもく とおる

南木 融 筑波大学附属病院検査部 臨床検査技師長 医学博士

業績の題目 「カテコールアミンの合成・分泌に関する新しい知見の解明と遺伝子検査法を通じ診療貢献」

⑤. 【福見秀雄賞】第35回の選考および決定

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ後進の指導育成に貢献あった者（実務者）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和55年から開始しており、平成28年度における第35回福見秀雄賞の推薦の受付は、平成27年12月より平成28年2月12日までを行い、その後同選考委員会を2月19日に開催し同日行なわれた理事会において候補対象者16名のうちから贈呈者5名を決定した。なお、同賞の贈呈式は平成28年6月3日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて行なう予定である。

(氏 名)	(所 属 機 関)
いしい やすよし 石井 保吉	医療法人社団こころとからだの元氣プラザ 前 臨床検査部長
おかの 岡野こずえ	山口大学大学院医学系研究科保健学系学域 教授 医学博士
なおい よしぐみ 直井 芳文	水戸済生会総合病院医療技術部臨床検査科 科長
のもと たけし 野本 剛史	前 日本医科大学千葉北総病院中央検査部 技師長
よも ださちえ 四方田幸恵	前 群馬大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長 前 群馬大学医学部保健学科 臨床教授

Ⅲ. 学術講演会

平成 27 年度は、6 月 5 日に銀行倶楽部にて「第 50 回小島三郎記念技術賞ならびに第 34 回福見秀雄賞」贈呈式の特別講演として、国立感染症研究所 前所長の渡邊 治雄先生に「感染症の世界的動向」と題してご講演いただいた。

Ⅳ. 公益財団法人登記後の対応

- ①事業報告書等に係る提出書（1. 財産目録、2. 役員等名簿、3. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類、4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 129 条第 1 項(同法第 199 条において準用する場合を含む。)に規定する計算書類等、5. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 1 項第 2 号に掲げる書類、6. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 2 号及び第 3 号に掲げる書類、7. 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書）を平成 27 年 6 月 30 日に内閣府へ提出した。
- ②事業計画書等に係る提出書（1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 1 から 3 までに掲げる書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類）を平成 28 年 3 月 23 日に内閣府へ提出した。
- ③内閣府より平成 26 年度中に収支相償を満たし、遊休財産も解消するようこの指摘があり、平成 26 年度決算時に特定費用準備資金（名称を「研究助成・顕彰事業積立資金」とした）として剰余金から 3,000 万円を積立て、平成 27 年度より取崩し使用する。
- ④平成 27 年度においては、上記取崩し費用として研究助成金を 100 万円増額し、顕彰事業では小島三郎記念文化賞が昨年 50 回を経過し、小島三郎記念技術賞が 50 回目を迎えるにあたり「小島三郎記念文化賞受賞記念論文集（第 41 回～第 50 回）」「黒住医学研究振興財団のあゆみ（小島文化賞・小島技術賞 第 50 回贈呈記念）」を上梓した。また、「小島技術賞（第 41 回～第 50 回）・福見賞受賞業績集（第 25 回～第 34 回）」も 4 月に刊行予定である。費用は、総額約 800 万円。

以上